



※プレゼントは裏面にあります。



【市民参加型の公園】
今回、市内で初めての市民参加型の公園が誕生します。袖ヶ浦西近隣公園です。「市民参加型の公園」とは近隣の住民の意見を取り入れ、市民と行政が一体となって公園を作るというものです。袖ヶ浦西近隣公園のリニューアルのきっかけは平成6年に市からの要請でしたが、近隣に住んでいる住民から「殺風景な公園でなさない」という声が上がっていたのもあります。そこで袖ヶ浦公民館の学習会協議公園部会というサークルメンバーが中心となり、理想の公園を作ろうと何回も会議を重ね、小中学生を現地に招き意見を聞いた「公園」を作ろうと頑張ったそうです。しかし希望とはうらはらに、色々なハードルがあったようです。例えば野外ステージを作りコンサートなどが出来るようにしたいという意見に、騒音被害などの意見があり断念しました。数々の困難を乗り越え夢を現実とし、初めての試みに戸惑いながらも皆の意見をまとめ公園の建設が始まりました。

袖ヶ浦は昔、海でした。バス通りから浜辺を模した「出会いの広場」。

もみの木のシンボルツリーを通り抜ける石張りであらた大きな貝殻が迎えてくれます。周りには5つの花壇があり有志の方がさまざまな花を咲かせます。その奥には既存の松を生かした「松風の林」と船の形をした遊具のある「わんぱく広場」があります。脇には小さな子供が泥遊びの出来る「砂場」があり、昔鷺沼に打ち揚げられたと言われている鯨が子供たちを待っています。そして一番奥に進むと大きな「はらっぱ」が広がります。そこには桜や実のなる木が植えられ、クローバーなどの自然の草花が季節を彩ります。所々に健康器具を配し、小さな子供から老年寄りまで楽しめる公園です。

このように綺麗に整備された公園を守って行くのは、私達市民です。理想の公園を作ってもイタズラをしたり、施設を壊したりするのはとても悲しい事です。「ゴミや犬の排泄物の持ち帰りを徹底して、いつまでも清潔な希望のある公園でいて貰いたい」と関係者の方は皆さん言われます。土に触れあい、自然を感じ、愛着のある公園であって欲しいですね。その為にも市民のモラルが問われるのです。

皆で創る公園、考え獲得し創造しつづける公園を目指し、訪れた人々が楽しめる交流の拠点としての新しい公園となるでしょう。

袖ヶ浦西近隣公園リニューアル完成は3月13日(土)9時15分より行われます。セレモニーや近隣の学校や幼稚園の生徒による演奏会が行われます。ぜひ、生まれ変わった公園を見にいらして下さい。



【フットサル教室】
2月13日(土)袖ヶ浦体育館でフットサル教室が行われました。これは習志野市スポーツ振興協会が学校の週5日制の開始と同時に第2・4土曜日に児童スポーツ教室を始めたものの一環です。毎月違うスポーツの教室を開催します。

今回の参加者は市内の小学生21名でした。スタッフの平原さんが中心になり4人で指導します。まずはストレッチ。寒さでこわばった体をほぐします。その後は2人1組でバスケットのようにドリブルをしながら先生方と追いかけていきます。先生方は小学生パワーに圧倒されています。次に2人の頭や脇にボールを挟んで走る競争です。うまくバランスが取れずボールが転がってしまう子もいました。一見フットサルには関係ないようですが、ボールに親しんでもらうためのトレーニングです。次は「ブラジル運動」です。体をひねったり、リズムをつけたりと全身

を使って体育館を走ります。出来る子も出来ない子も元気一杯で、寒さなど吹っ飛ばしてしまいました。休憩を挟んで今度は足でのドリブルやパスの練習で体育館を走り回りました。今度は2つのグループに分かれ輪を作り、その中でパスの練習です。つないだ手を離さないように一所懸命です。ボールを2個にすると益々輪



が崩れ、つい手を離してしまう子もいました。また休憩が入り、いよいよ本番のゲームの始まりです。3つのグループに分かれ、ゲーム開始！体育館全体を使っての試合なので、広くてなかなかゴールが決まらず5試合で2点しか入りませんでした。それでも作戦タイムにはポジションを替えたり、子供達なりに作戦をたてたりしていました。ゲームが終わる頃には顔に汗がにじむほど、みんな精一杯遊び楽しんでいました。

教室が終わると参加した子供たちで体育館をモツツがけしました。ただモツツがけをするのではなく、競争させるなど最後まで子供たちを飽きさせないよう工夫が見られました。平原さんは子供たちと1点の大切さを噛み締め、自分も小学生になったような気分になったようで楽しいと話していました。3月は野球です。それもまた楽しそうですね。

◎問い合わせ (財)習志野市スポーツ振興協会 電話452-4380

あさまる info

- ◆市内史跡・文化遺産を訪ねるつどい
日時：平成16年3月6日(土)午前8時45分集合 小雨決行
集合場所：菊田公民館
対象：小学生～一般(先着50名)
内容：「習志野かるた」に入っている史跡等も訪ねます。
参加費：保険料・資料代他100円
持ち物：昼食・飲み物・雨具・タオル・保険証
服装：ズボン着用・はき慣れたクツ
問い合わせ先：菊田公民館 電話 452-7711
- ◆第11回生涯学習フェスティバル
日時：平成16年3月6日(土)・7日(日)
場所：新習志野公民館
●6日/イベントプログラム：餅つき、ゲームラリー、ペンシルパルーン他(午前10時～12時)
お囃子・おどり・吹奏楽(午前10時～12時)
バザー、各種模擬店(午前10時～午後1時)
●7日/よみかかせと子ども映画会(午前10時～午前11時30分)
TANGO(午後2時～午後3時30分)
- ◆菊田の杜から音楽を
日時：平成16年3月14日(日)午後1時30分～午後3時
(受付・開場/午後1時～)
場所：菊田公民館3F講堂
出演：斉藤園子(バイオリン演奏)
立川かずさ(ソプラノ独唱)
曲目：タイスの瞑想曲、チャールダッシュほか(バイオリン)
すみれの花咲く頃、涙そうそう他(ソプラノ)
入場無料、申し込みは当日会場で先着順受付
問い合わせ先：菊田公民館 電話 452-7711
- ◆文学講座 説話文学の世界～日本人がどう生きてきたか～
日時：平成16年3月19日(金)午後1時30分～午後3時30分
場所：菊田公民館 電話 452-7711
講師：伊東俊子(日本民俗学会員)